

動物実験に関する自己点検・評価報告書

九州産業大学 動物実験委員会

平成28年3月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・九州産業大学における動物実験に関する規程 ・九州産業大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針 ・該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・九州産業大学における動物実験に関する規程 ・九州産業大学動物実験委員会規程 ・動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・九州産業大学における動物実験に関する規程に基づき、九州産業大学動物実験委員会 が設置され適正に運用されている。
4) 改善の方針 ・該当しない。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・九州産業大学における動物実験に関する規程 ・九州産業大学動物実験委員会規程 ・動物実験計画書 ・動物実験実施結果報告書 ・動物実験計画審査結果通知書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針 ・該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・該当なし。
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・動物実験委員会は、原則として遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等は認めていない。 遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等を実施する場合は、実施体制を整えた後に認めるものとする。
4) 改善の方針 ・該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・九州産業大学における動物実験に関する規程・九州産業大学動物実験委員会規程・飼養保管施設設置承認申請書
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none">・動物実験委員会が飼養保管施設設置承認申請書に基づき、飼養保管施設とその実験動物管理者を把握できる体制となっている。
<p>4) 改善の方針</p> <ul style="list-style-type: none">・該当しない。

6. その他

(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

<ul style="list-style-type: none">・該当なし。
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・九州産業大学における動物実験に関する規程 ・九州産業大学動物実験委員会規程 ・動物実験委員会委員名簿 ・動物実験計画書 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・実験室設置承認申請書 ・動物実験実施結果報告書 ・自己点検報告書 ・動物実験委員会議事要録 ・動物実験教育訓練実施報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・九州産業大学動物実験委員会規程に基づき、委員会の役割を果たしている。
4) 改善の方針 ・該当しない。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・九州産業大学における動物実験に関する規程 ・九州産業大学動物実験委員会規程 ・動物実験計画書 ・動物実験計画審査結果通知書 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・実験室設置承認申請書 ・動物実験実施結果報告書 ・自己点検報告書 ・動物実験委員会議事要録 ・動物実験教育訓練実施報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められており、審議結果が議事要録及び報告書に適正に記載されている。
4) 改善の方針 ・該当しない。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 該当なし。
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等を行われていない。
4) 改善の方針 ・ 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等(飼養保管施設【標準使用・管理手順書】)により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 九州産業大学における動物実験に関する規程 ・ 九州産業大学動物実験委員会規程 ・ 動物実験計画書 ・ 飼養保管施設設置承認申請書 ・ 動物実験実施結果報告書 ・ 自己点検報告書 ・ 飼養保管施設【標準使用・管理手順書】
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 実験動物管理者により、「飼養保管施設【標準使用・管理手順書】」に基づき、飼養保管状況の適正性について点検が行なわれている。
4) 改善の方針 ・ 該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 動物実験に係る記録 ・ 飼養保管施設【標準使用・管理手順書】
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 適正な維持管理が行われている。 (平成 27 年 7 月 24 日 企業による空調修理、温度調整器、湿度監視器・加湿器の定期点検を行った。)
4) 改善の方針 ・ 該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 九州産業大学における動物実験に関する規程 ・ 九州産業大学動物実験委員会規程 ・ 動物実験教育訓練実施報告書 ・ 動物実験教育訓練説明資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 九州産業大学における動物実験に関する規程に基づき、適正に実施されている。 平成 27 年 4 月 15 日 (水) に教育訓練を実施した。
4) 改善の方針 ・ 該当しない。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物実験実施結果報告書 ・九州産業大学 学術研究推進機構ホームページ
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開を平成23年度より実施している。
<p>4) 改善の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当しない。

8. その他

<p>1) 九州産業大学動物実験委員会の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術研究推進機構 副機構長 (工学部 上和田茂教授) ・実験動物専門家 3名以内 (工学部 日垣秀彦教授、迎勝也教授、石川篤教授) ・事務局長 (田中勝彦) ・その他機構長が必要と認める学識経験者 若干名 														
<p>2) 動物実験委員会実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> <th>開催場所</th> <th>議 題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>H28.3.14</td> <td>8号館4階 工学部小会議室</td> <td>平成27年度動物実験実施結果報告書及び自己点検報告書について 平成28年度動物実験計画書について 平成27年度動物実験に関する自己点検・評価報告書(案)について</td> </tr> </tbody> </table>	回数	開催日	開催場所	議 題	第1回	H28.3.14	8号館4階 工学部小会議室	平成27年度動物実験実施結果報告書及び自己点検報告書について 平成28年度動物実験計画書について 平成27年度動物実験に関する自己点検・評価報告書(案)について						
回数	開催日	開催場所	議 題											
第1回	H28.3.14	8号館4階 工学部小会議室	平成27年度動物実験実施結果報告書及び自己点検報告書について 平成28年度動物実験計画書について 平成27年度動物実験に関する自己点検・評価報告書(案)について											
<p>3) 平成27年度の動物実験計画の審査状況と施設設置数及び従事者数 (平成28年3月末時点)</p> <table> <tr> <td>1.動物実験計画申請数</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>2.変更なしでの許可件数</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>3.変更後の許可件数</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>4.不許可・取下げ件数</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>5.動物実験従事者数</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>6.飼養保管施設の設置数</td> <td>1 個</td> </tr> <tr> <td>7.実験室の設置数</td> <td>1 個</td> </tr> </table>	1.動物実験計画申請数	1 件	2.変更なしでの許可件数	1 件	3.変更後の許可件数	0 件	4.不許可・取下げ件数	0 件	5.動物実験従事者数	1 名	6.飼養保管施設の設置数	1 個	7.実験室の設置数	1 個
1.動物実験計画申請数	1 件													
2.変更なしでの許可件数	1 件													
3.変更後の許可件数	0 件													
4.不許可・取下げ件数	0 件													
5.動物実験従事者数	1 名													
6.飼養保管施設の設置数	1 個													
7.実験室の設置数	1 個													

4) 平成 27 年度の実験動物種毎の入手数と使用数 (平成 28 年 3 月末時点)

動物種	入手数	使用数
ラット(ウイスター系アルビノ)	2 匹	2 匹
スnekス	1 匹	1 匹

5) 教育訓練実施状況

開催日	H27.4.15			
受講者数	8 名			
<p>・実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①関連法規・指針・本学の規程等の説明 ②動物実験等の方法に関する基本事項 ③3R の原則と欧米の法的枠組みについて ④日本の法的枠組みについて ⑤苦痛の軽減について ⑥安全管理に関する事項 ⑦飼養保管施設に関する管理手順について 				